

集まれ！あそびの天才

日 時：平成21年7月5日（日） 10：30～14：30

会 場：松戸市中央公園

主 催：聖徳大学社会連携研究事業、地域子育て学ネットワーク
人文学部生涯教育文化学科学生、児童学部児童学科学生

後 援：松戸市、松戸市教育委員会、松戸市社会福祉協議会

参加対象：幼児、小学生

内 容：学生企画の子ども向け体験イベント

（カラー水鉄砲、たこ作り、竹馬、ツイスター、害虫退治、アクションペインティング）

地域の市民団体協力による体験ブース（スーパー紙とんぼ）

参加人数：250名

スタッフ67名（学生・教職員・地域ボランティア含む）

梅雨の晴れ間の日曜日、大学近くの松戸市中央公園にて「集まれ！あそびの天才」が、公園のほぼ全体を使って開催された。

この事業は、文部科学省の社会連携研究の一環として、「地域・若者交流」及び「学生の社会参画力育成」をテーマに実施したもので、昨年に引き続き2回目となる。

地域の市民団体と協力し、学生が企画したゲームをクリアしていくスタンプラリー形式で、多くの家族がイベントを楽しんだ。全部で7つのゲームコーナーでは、真剣に取り組む子どもたちの姿が見られ、あちこちで歓声があがっていた。

学生やボランティアスタッフも子どもにまじって思い切り遊び、公園は終始にぎわいを見せていた。

全てのゲームをクリアすると「あそびの天才」に認定表彰される。賞状を受け取る子どもたちは心なしか誇らしげだった。

開催にあたり、松戸市、社会福祉協議会、市民活動サポートセンターや市民ボランティアによる協力があり、大学と地域の協働が実現した。

保護者アンケートによると、満足度が非常に高く、また今後もこのようなイベントの開催を希望する声が多数あり、大学の社会貢献を今後も強化していきたい。

